

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
道徳教育	①豊かな心の育成を目指して、道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を推進する。②年間学習指導計画を見直し、道徳科と各教科、学校行事との関連を強くし、実践を伴った道徳性を養う。③道徳科年間指導計画に沿った、全学級の道徳科授業公開を年1回以上実施する。
担当	

豊かな心に関わる本校の状況
<p>(1)豊かな心に関わる児童の実態 人懐っこく、友達との会話やかかわりを楽しむ児童が多い。地域とのかかわりも深く、穏やかな雰囲気の中で生活している。しかし、小規模校の特徴からか、人間関係が固定されることがある。道徳的価値は分かっているが、実践となると周りの目を気にして行動に移せないことがある。また、自分の思いを表現することや相手の気持ちを想像することがやや苦手だったり、コミュニケーション能力が不足していたりする児童もいる。</p> <p>(2)これまでの学校の取組状況 ・全学級の道徳の授業を家庭・地域(年1回以上)に公開した。 ・道徳教育について、家庭・地域に発信した。 ・道徳の時間の教材の取組時期を工夫をし、日常化へ向けた取組を行った。 ・たてわり活動など異学年交流を充実させてきた。 「児童会活動」「クラブ活動」「なかよし班活動」「スポーツフェスティバル」などの異学年交流をより自主的、意欲的に行うようにしてきた。また、ブロック朝会をはじめとするブロックで行う活動を通して、他学年のよさを知るようにした。 ・地域との交流活動を各学年の学習や委員会活動などの委員会活動などと関連付けて行った。 ・生活科や社会科、総合的な学習の時間、計画委員会の活動などを通して地域の方と交流したり、感謝を伝えたりする会を設けたりして、感謝の気持ちや思いやりの心を育むようにした。 ・日々の清掃活動や日常の整理整頓等、学校の環境整備を行った。</p>

今年度の目標
様々な人々と関わりながら探究的な学習を行い、社会性や協働性、課題解決能力やコミュニケーション能力を高めていく。

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳科と各教科、学校行事との関連を強くできるよう、年間学習指導計画を見直す。 ・全ての教育活動において、友達の意見を聞いたり自分の考えを伝えたりする場面を増やす。 ・たてわり班活動、社会・生活・総合的な学習などの授業で、様々な年齢や立場の方と関わる活動を取り入れ、自分の立場を理解し、適切な言葉遣いや態度などを考え、振り返る場面を設ける。 ・全学級の道徳の授業を家庭・地域(年1回以上)に公開する。 ・道徳教育について、家庭・地域に発信する。 ・道徳の時間の教材の取組時期を工夫をし、日常化へ向けた取組を行う。 ・「児童会活動」「クラブ活動」「なかよし班活動」「なかよし集会」などの異学年交流をより自主的、意欲的に行うようにし、活動の充実を図る。 ・ブロック朝会を通し、他学年のよさを知るようにする。 ・講師を依頼し、教職員向けの研修を行う。 ・4・5年生の2学年合同上郷宿泊学習で、5年生がリーダーとなりながら異学年とコミュニケーションをとる経験につなげる。 ・昇降口付近で飼育しているウサギを身近に感じ、生命と触れ合う機会をもつ。
下半期	<ul style="list-style-type: none"> ・前期に作成した年間学習指導計画を再度見直し、後半の行事に向けて修正を行う。 ・校外学習や地域の方へのお礼の会などを通して、場に応じた適切な態度を養う。 ・地域との交流活動を各学年の学習や委員会活動などの委員会活動などと関連付けて行う。 ・生活科や社会科、総合的な学習の時間、計画委員会の活動などを通して地域の方と交流したり、感謝を伝えたりする会を設けたりして、感謝の気持ちや思いやりの心を育むようにする。 ・たてわり班活動、社会・生活・総合的な学習などの授業で、様々な年齢や立場の方と関わる活動を取り入れ、自分の立場を理解し、適切な言葉遣いや態度などを考え、振り返る場面を設ける。 ・幼保小連携として、園児と1年生の交流、園児と5年生の交流を行い、次年度のかかわりも見据えて豊かな心を育成する。